

2014年6月19日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社

4年連続で Online Trust Alliance の「オンライントラスト栄誉賞」を受賞

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社の連結会社で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社(代表取締役社長:中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン社)は、データセキュリティやプライバシー関連事業を行う非営利団体 Online Trust Alliance (以下、OTA) より、信頼性の高い Web サイトを表彰する 2014 年の「オンライントラスト栄誉賞」を受賞いたしました。今回の受賞は、4 年連続となります。

【「オンライントラスト栄誉賞」受賞の背景】

GMO グローバルサイン社は、日本国内の SSL サーバ証明書市場においてルート認証局のシェア No.1 を獲得しているほか、海外 11 ヶ国でサービスを展開しており、全世界で約 2,000 万枚の電子証明書発行実績を持つ電子証明書市場のリーディングカンパニーです。

この度の受賞は、全世界におけるサイバー犯罪の脅威からモバイルや相互接続環境を保護するセキュリティ技術に加え、“Internet of Things”(モノのインターネット、以下、IoT)^{※1} の概念が広まるにつれ注目度を増しているアイデンティティ管理^{※2} や、セキュリティへの取り組みなどを高く評価いただいた結果となります。

(※1)モノのインターネットとは、パソコンやサーバ、プリンタなどの情報通信機器だけでなく、様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットへの接続や相互通信を可能にすること。

(※2) アイデンティティ管理とは、ネットユーザーがサービスにログインする際の ID/パスワードなど本人確認のこと。

【「オンライントラスト栄誉賞」とは】

「オンライントラスト栄誉賞」とは、オンラインの信頼度を監査する独立機関 OTA より、ブランド保護やセキュリティ、プライバシー管理などの優れた Web サイトを運営する企業に授与される賞です。世界中の Web サイト約 10,000 サイトを分析して、ブランド保護やプライバシー保護、セキュリティなどを基準に点数化し、候補が選出されます。近年、オンライン情報に対する脅威の多様化に合わせ、選出基準は毎年厳格になっています。2014 年は、モバイルデバイスを経由した Web サイトへのアクセスの激増を受けて評価方法が改正されたほか、SSL サーバ環境設定や暗号プロトコル、2048 ビット証明書の要件、フィッシングや詐欺メールからの保護など新たな基準が加わりました。

3 年以上連続で受賞した企業は約 10%と審査基準が年々厳しくなる中、GMO グローバルサイン社は 4 年連続の受賞となりました。

<2014 年の「オンライントラスト栄誉賞」選出基準>

(1) ブランド保護	メール認証、ドメインセキュリティ、アンチフィッシング技術
(2) プライバシー保護	データ保持、利用者の匿名性、第三者データ共有、迷惑メール拒否メカニズム、機密データのブロックシステム監視などを含むポリシーと実践
(3) セキュリティ	サイトとアプリの環境設定、SSL インフラストラクチャー(サーバ環境設定、暗号プロトコル、2048 ビット証明書など)、サイトの脆弱性の有無、マルウェア監視、関連するセキュリティとデータの保護強化コントロール

なお、OTAは、6月10日から6月13日にシカゴで行われたInternet Retailer Conference and Exhibition (IRCE) において、2014年の「オンライントラスト栄誉賞」を発表しました。受賞リスト一覧は、以下のURLをご覧ください。

URL: <https://otalliance.org/HonorRoll.html>

■OTA 常務取締役兼社長 Craig Spiegle 氏 コメント

『モバイルデバイスの使用が激増するにつれて、消費者は個人データをやり取りしている Web サイトを完全に信頼できるか否かを一層知る必要があります。それこそがまさにオンライントラスト栄誉賞を設けた理由です。ブランド保護と消費者データ管理を全体的に見通すことにより、すべてのブランドとアプリ開発者に対して、データセキュリティとプライバシー管理に責任感を持ち、継続的に栄誉賞を受賞する GMO グローバルサイン社のような企業に倣っていくことを推奨します。このような協業により、オンラインの信頼性を高め、革新を促進し、かつ安全なインターネット体験を皆様に創出できるのです。』

■GMO グローバルサイン CMO(マーケティング最高責任者) Joan Lockhart 氏 コメント

『GMO グローバルサイン社は、OTA のような組織に連続で4年間、セキュリティとデータプライバシーへのコミットメントに対するこのような賞をいただき大変光栄に思います。当社では毎週のように、サイバー犯罪の脅威に関する注意喚起や新しい情報を発信しているものの、激増するスマートデバイスと IoT により、人、デバイス、システム、およびアプリケーション間に相互作用して、より多くの潜在的な脆弱性が生まれてきています。GMO グローバルサイン社は、高度なセキュリティおよびプライバシー意識に誇りをもって、市場に革新的なアイデンティティソリューションを提供します。そして、消費者の信頼を維持・保護するベストな模範を他社に提供していきます。』

【Online Trust Alliance (OTA) とは】

Online Trust Alliance (OTA) は、オンラインの信頼性を強化しユーザー権限を与えることをミッションに、インターネットの技術革新や活力促進を支援する慈善的非営利団体です。ユーザーのセキュリティやプライバシー、アイデンティティの保護を強化するためのツールを開発・改良することで、ビジネスはもちろん、ポリシー関連市場、ステークホルダーの啓発を促進しています。また、あらゆる企業・個人への協業パートナーシップ、他社比較レポート、有益な規制化とデータ管理をサポートしています。

【「GlobalSign」とは】

世に電子認証サービスが登場し始めた初期段階の 1996 年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID^{※3}(BELPIC)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006 年に GMO インターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しております。現在では、50 万枚以上の SSL サーバ証明書発行実績をはじめ、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績があります。また、『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。

(※3) eID:ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民 ID カードプロジェクト。12 歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りの ID カードが配布される。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMOクラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
 TEL:03-6415-6100 FAX:03-6415-6101
 E-mail:pr@gmocloud.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMOグローバルサイン株式会社 マーケティング部 大澤
 TEL:03-6809-0196 FAX:03-5728-1552
 E-mail:info@globalsign.co.jp

●GMOインターネット株式会社 グループ広報・IR部 石井・島田
 TEL:03-5456-2695 FAX:03-3780-2611
 E-mail:pr@gmo.jp

【GMOグローバルサイン株式会社】(URL:<http://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMOグローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業

【GMOクラウド株式会社】(URL:<http://www.gmocloud.com/>)

会 社 名	GMOクラウド株式会社 (東証マザーズ 証券コード:3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■ホスティングサービス事業 ■セキュリティサービス事業

【GMOインターネット株式会社】(URL:<http://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード:9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット証券事業 ■モバイルエンターテインメント事業